



みみずく

2022 年度
学校だより
1 号

この四月にはなさき支援学校から赴任してきました校長の大城麻紀子と申します。十五年ぶりに本校に戻ることができ、大変嬉しく光栄に思っているところです。

私は、本校の校訓である「豊かなことば」「強い心」「健やかな体」の育成を念頭に置きながら、子供たち一人一人が「生活的・職業的自立」「社会参加」できるよう、精一杯の支援をしていきたいと思います。

さて、令和4年度は、幼稚部7人、小学部8人、中学部6人、高等部12人、全校幼児児童生徒総数33人でスタートしました。33人の子どもたちや職員の日々の活動や活躍をこの学校だよりで発信していきたいと思っていますので、どうぞ、よろしくお願いします。

今回は、高等部の生徒の活動を紹介します。

98 周年の開校記念集会がありました。

4月26日の開校記念集会に合わせて、高等部2年のN・Rさん、T・Mさん、K・Yさんが、事前学習で沖縄ろう学校の歴史を調べて体育館に掲示していました。また、4月に赴任してきた校長の紹介もしてくれました。校長へ質問することを考え、そして、質問したことをメモしてまとめたパネルは、とても素晴らしかったです。校長室で3人と質問を交えておしゃべりできたことは、うれしい限りでした。児童生徒玄関前に掲示してありますので、来校の際はご覧ください。

開校集会でたくさんの子どもたちが、3人の作ったパネルを見ていました。学んだことを自分たちの日常に生かすだけでなく、ほかの人の関心を得るこうした活動をこれからも続けてほしいです。

自立への前進になった自力通学

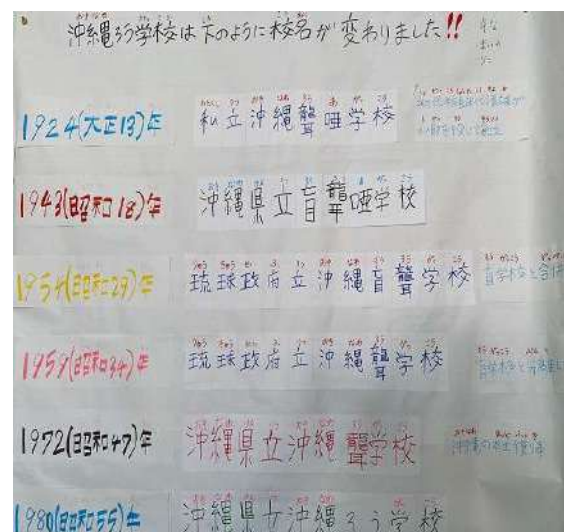
高等部2年のT・Mさんさんが名護から自力でのバス登校に挑戦しています。

3月末に保護者と一緒に名護バスターミナルから屋宜原バス停までバス乗車練習をして、4月から毎週月曜日、一人でバス登校しています。

朝4:30起床、5:30名護出発、7:30頃屋宜原着。寄宿舎に到着すると、無事についたことを知らせるラインを保護者に送ります。

卒業後の自立を見据えての挑戦、素敵ですね。

路線バス下車後、歩いて登校。寄宿舎でライン報告 →



三人が作った学校の歴史紹介のパネルです。←

H・Yさん（高3）アーク溶接資格取得

自分の夢実現のために、休日も返上してアーク溶接の講義を受け、見事試験に合格したH・Yさん。ほかの資格も取りたいと次の目標に向かって頑張ってます。5月18日の沖縄タイムス(22面)にも掲載されました。





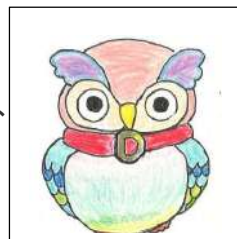
みみずく

2022 年度
学校だより
2号

学校だより「みみずく」のキャラクターの紹介

みみずくは、名前に「みみ」があることから、龍(たつ)と同様、聴覚障害者のシンボルキャラクターの一つとして、たくさんの聴覚障害者団体等で名前が使われています。また、知恵を象徴する鳥で、子どもたちが、色んな学びの経験から成長していくことを表しています。そこで、本校の学校だよりでもキャラクターとして使おうと考えました。

名前は、「ディーホ」といいます。ろう学校の校章の中心であり、聴覚障害を表す英語の Deaf とみみずくを表す英語の horned owl の頭文字の h と o を合わせると Deaf ho となるので、「ディーホ」と名付けました。色がカラフルなのは、ろう学校の幼児児童生徒ひとりひとりが、自分の個性に合った、いろんな希望や夢を持って飛翔してほしいとの願いからです。ディーホが、沖縄ろう学校で愛されるキャラクターになることを期待したいです。第2回は、寄宿舎での活動を紹介します。



第1回三重ろう学校寄宿舎との交流会

2年前からスタートした三重ろう学校との on-line 交流会が、6月8日に寄宿舎でありました。事前準備では、舎生は、どんな沖縄の特産品を紹介しようか？自己紹介でどんな PR しようか？と悩み、考え、発表の工夫を重ねてきました。当日は、丁寧に準備してきたことをもとに、各舎生が堂々と自分の自己紹介をしている様子が頼もしかったです。三重ろうの様子もわかり、実りある交流会でした。この交流会は、On-line で本土とつながる、他県の仲間と交流できる貴重な時間だと思いました。



↑ 三重ろうの舎生の話に耳を傾けてます。みんな真剣！

仲間との楽しい交流の時間：余暇活動

1日のリフレッシュの時間で、舎生が楽しみにしているのが、余暇活動です。体育館でバスケしたり、運動場でサッカーや自転車乗り、リップスティックに乗ったり。またテレビゲームや卓球をしたりと、舎生が思い思いに時間を過ごしています。



↑ ゲームに夢中



↑ スポーツでハッスル！

自立にむけて「生の学習会」

あいさつ、身だしなみ、相手との程よい距離の取り方、相手を思いやる心、タイムマネジメント、お金の使い方や管理 etc.。大人になったら、社会人になったら大切なことを1年間、計画的に学習しています。舎生みんな、素敵な大人になるために頑張っています。



↑「生活体験：日課とタイムマネジメント」の話を聞く舎生

舎監会議 毎日、学部

の先生が、交代で寄宿舎で泊まり、舎生と交流しています。そのための会議が年に数回行われています。





みみずく

2022 年度
学校だより
3号

77年前にあったことを忘れない！ 各学部で行われた平和学習

6月23日は慰霊の日です。日本で唯一の地上戦があり、戦場で戦った方々だけでなく、たくさんの民間人が犠牲になった沖縄戦。沖縄県民として、これからも継承していく平和への祈りと願いを確かなものにするために、冲ろうでも平和学習を行いました。幼稚部は、絵本の読み聞かせをしました。空腹で苦しそうな様子を見て、「おなか、へってる？」と心配そうに教師に聞いていました。小学部は、実際の砲弾を手に取りその重さに、「これが当たったら□・こわい」と話していました。「心の痛まる戦争が世界からなくなる為には相手の事情を理解し・・・」と、中学部の生徒は、戦争のない世界を作ることを考えました。高等部は事前学習で、実際にどのくらいの人がなくなったのかを調べた後に美術館で絵を見て、本当にたくさんの人が戦争で亡くなったのだと実感しました。戦争で亡くなった多くの人に哀悼の祈りを捧げ、世界から戦争がなくなることみんな考えた6月でした。

今回の特集は、中学部です。

↓【中】



↑【小】

→
【高】



スクールカウンセラーって何する人？

スクールカウンセラーの鮫島先生と交流会を行いました。はじめに自己紹介ゲームで盛り上がり、緊張がほぐれた後、先生の話聞きしました。「私は、心の専門家です。みなさんの気持ちがリラックスできるよう、1対1でお話しします。」「はっきりした悩みがなくても、私と話すことがはできますよ。気軽に会いに来て下さい。」という先生の話聞いて、「先生と話してみたい！」と、生徒と先生の距離が近くなっていました。



イカの肝臓だ



【理科】観察 単元「イカの解剖」 ↑

液浸標本を使って外部形態や内臓の観察、記録



見て、聞いて、対話し活動する体験型授業！

思考力や表現力を伸ばすには、「見る」「聞く」「対話」「体験的活動」の4つの要素を入れた学習が大切です。中学部もその4つの要素を各教科入れた学習を行っています。今回は、その一部を紹介します。

【国語】劇化 単元「おてがみ」

物語の場面を理解して、内容を「言葉」と「手話」と「表情」で表現して、相手とやり取りしています。登場人物の気持ちになって演じていました。

がま君とかえる君の会話



そへ、かたちむり君登場



←【理科】観察 単元「生き物の成長」

カイコを卵から育てて、その成長の様子(卵→幼虫→繭→成虫)を観察、記録しました。



みみずく

2022 年度
学校だより
4号

2 学期スタート前に、先生方は専門性向上のための研修頑張りました。

夏休み、子どもたちは家庭を中心に、夏休みだからこそ出来ることを頑張ったようです。そんな子どもたちと同じように、沖ろうの先生方は、子ども達への指導・支援のための自分の専門性を高めるために、たくさんの研修会に参加していました。

日本語の文法について、自立活動について、聴力検査へのトライアル、聴覚障害のある子どもたちへの理解を深める基礎研修、手話研修 etc.。

先生方の思いは一つです。「子供たちの未来のために！」

さて、長い夏休みが終わり、1 年で一番長い 2 学期が始まりました。いろんな体験的活動が目白押しの 2 学期です。子どもたちの成長と活躍が楽しみです。

今回の特集は、小学部です。



← ↓ (日本語文法を学ぶ)



(聴覚障害理解)
→

中の町小学校との交流学習

9 月 13 日(火)に中の町小学校との交流学習がありました。全体交流会の後は、3グループに分かれて中の町小の 4 年生の各クラスに入って交流しました。手話ソングを一緒に歌ったり、ジェスチャーゲームや手話クイズをしたりしました。手話クイズや手話ソングは、小学部がリードしてやり、ジェスチャーゲームは中の町小がリードしてやるというように、お互いが主体となって交流ができました。中の町小学校の 4 年生の 3 学級は、交流の間中、笑顔と笑い声が絶えませんでした。

小学部の学習の一コマです。

少人数の学級の小学部。一人で学ぶこともたくさんあります。もちろん、グループで学習する機会もあります。学び合いや上級生が下級生を教える役割を果たすなど、異年齢集団で学ぶ良さも見られます。みんな、真剣！

↓ (家庭科：ミシンの学習)

↓ (社会：どこで作られた?)



(自活：目と手を
合わせて)
→



(社会：ごみ処理場
新聞づくり)
→



【手話クイズ】はじめは
照れて緊張でも次第に
笑顔に
←

← 【手話ソング】全体
交流会で、手話ソングを
みんなで披露しました。

(福岡県久留米聴覚との on-line 学習) →



(全琉母の日コンクール
優秀賞・六年生) ←



みみずく

2022 年度
学校だより
5号

8年ぶりの九州地区聾学校体育・文化連盟（九聾体・文）沖縄大会！！

今回の特集は、九聾体・文とモスバーガーでの作品展示です。

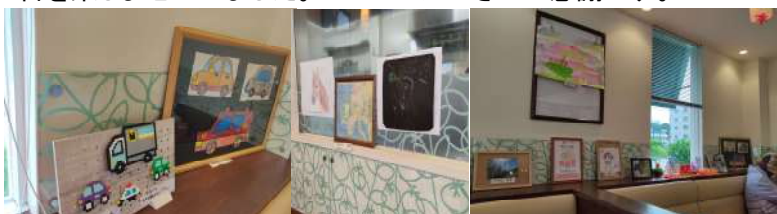
9月29日、30日は、8年ぶりに九聾体・文が沖縄で開催されました。新型コロナの影響で、対面で開催されるのも3年ぶりでした。1日目は、各聾学校との交流でした。それぞれの聾学校の様子や作品をDVDで鑑賞した後、コロナ対策での短い時間でしたが、生徒同士の交流ができました。ソーシャルディスタンスをしっかりと取っても、通常通りおしゃべりできるのは、手話ならではのものです。距離はあっても心は近づいている様子が会場のあちこちから見られました。

2日目は、陸上競技大会でした。地元開催だったので、幼稚部や小学部の子どもたちも保護者も陸上競技場で応援できました。幼稚部、小学部の子どもたちにとっては、間近で見る中学部、高等部の先輩たちの雄姿だったと思います。選手たちは、スタンドからの熱い応援に張り切っていました。その結果、出場した選手全員がメダルを獲得したのです！競技前の「金メダル取るぞ！」の誓いを叶えた生徒、「自信がないよ。きっと、ビリになる・・・」との予想が、うれしい方向で外れ、金メダルを取った生徒。大会が終わったら、競技場もスタンドもみんな満足した笑顔でした。子供たちの雄姿、見てください！！



モスバーガーが、沖ろう美術館になりました

10月1日～31日まで、モスバーガー北谷店と野嵩店で、本校の幼児児童生徒の作品展示がありました。野嵩店には幼稚部と小学部の作品、北谷店には中学部と高等部の作品が展示され、2店が1か月間、沖ろう美術館になって、訪れる人の目を楽しませていました。モスバーガーさんに感謝です。



←【中・高】

↑【幼・小】



みみずく

2022 年度
学校だより
6号

沖ろうPTAの活動とつながり、すばらしいです

11月12日(土)にPTA作業がありました。たくさんの皆さまが参加され、1時間半の作業で、体育館と生徒玄関前が見違えるほどきれいになりました。参加して下さったみなさん、本当にありがとうございました。

また、11月1日に九州地区聾学校PTA新聞の「手作り部門」で、本校のPTA新聞が最優秀賞をいただきました！続いて11月6日には、うちな一地域づくりフェスタで本校のPTA活動が表彰されました！！

あらためて、本校PTA活動のすばらしさを実感しました。それから、ボランティアの田盛さんが、雨の中、フェンス沿いの草刈りをしてくださいました。こうした応援、本当にありがたいですね。



みんな一生懸命
作業の様子←



↑ 地域づくりフェスタ表彰式

今回の特集は、幼稚部と乳幼児教育相談です。

体験活動を通して 聞こえとことばを育てる幼稚部

幼稚部では、2学期に遠足、お月見、いもほりと、いろんな体験活動をしました。ごっこあそびをしてからの実体験は、イメージしたことばと実物をマッチングさせる大切な活動です。この生活経験の広がり、聞こえてくる音の意味や日常にあふれる‘ことば’を伝えてくれるのです。



動物の動きを観察
したよ、動物園に行
くのが楽しみ

くるくる
おいしいおだんごに
なーれ



みんなで芋ほり



親子でのふれあいで、 聞こえとことばの気づきを育む乳幼児教育相談

週に1回～2回、乳幼児教育相談で、かけ始めた補聴器や人工内耳に慣れ、聞こえる音に気づき、声を出すこと、身振りやサインで自分の気持ちを伝えられることをお父さん、お母さんと一緒にふれあい、活動して知っていきます。親子で一緒に聞こえとことばのファーストステップができる場所です。



ミミタマツリ←



ふれあいあそび



絵本の読み聞かせ



個別相談←



みみずく

2022 年度
学校だより
7号

交流および共同学習を通して、多様な学びを ろう学校で、地域で、他県と！！

インクルーシブ教育が推進されて、学校間、居住地校、オンラインでの交流および共同学習が積極的に行われるようになりました。沖縄ろう学校も本年度、幼稚部、小学部、中学部、高等部、寄宿舎で多くの交流および共同学習を行っています。学級の人数が少数で集団で学んだり、遊んだりする機会が少ないろう学校の子どもたちにとって、交流および共同学習は、聞こえる友だちや違う地域で学ぶ同じ聴覚障害を持つ子どもたちと出会い、意見を交わし、学び合う大切な学習の機会です。

「同じ趣味の子がいるといいな。」「交流の後も仲良くなりたい。」「自分の言いたいことをうまく伝えられるかな?」「初めて出会う子と仲良くなれるかな?」と、交流前は、子どもたちは期待と不安でいっぱいの子どもたち。1 回だけの交流もあれば学期に 1 回、複数回、毎月と、その機会も様々です。

沖縄ろう学校で学ぶ友達が少なくても、たくさんの友達と学ぶ機会を増やすことはできる。本年度の各学部、舎での交流がそれを証明してくれました。これからも社会に参加した後の子どもたちの生活を見据えて、集団での学び、多様な子どもたちとの学びを増やしていきたいです。

今回の特集は、交流および共同学習です。

幼稚部は諸聖徒保育園と交流しました

幼稚部は、7 月 1 日と 11 月 16 日の 2 回交流しました。7 月は、諸聖徒保育園が本校に来校して交流し、11 月は、諸聖徒保育園に行き交流しました。お互いに自己紹介したり、玉入れやつなひき、ダンスと時間いっぱい楽しく交流しました。

小学部はいろんな交流、共同学習をしました

小学部は、中の町小学校に行き交流学習、児童個々の居住地校での交流と共同学習、隣のはなさき支援学校との交流学習、体験授業での共同学習、オンラインでの久留米聴覚との交流と共同学習と、たくさんの交流および共同学習をしました。本年度は居住地校交流も 1 週間できた児童もあり、交流後の交流も活発になっています。



自己紹介タイム



みんなでゲームが楽しいよ



中の町小学校で



はなさき支援学校と



居住地校で



福岡県久留米聴覚とオンラインで



記念撮影タイム



体験授業で



中学部は、北中城中学校と交流しました

中学部は、北中中学校や居住地校で交流および共同学習をしました。居住地校では、小学部で居住地校交流をした時の友だちもいて、小から中に進学しても同じ仲間と学べる喜びがありました。また、ろう学校から地域の中学校へ転校した友だちと月に1度オンラインで交流しています。場所は離れていても、ともに学んだ仲間との縁は強いと感じました。

北中中学校との交流



転校した仲間とのオンライン交流



高等部は、嘉手納高校や卒業生と交流しました

高等部は、嘉手納高校と双方向で4回交流および共同学習をしました。はじめは、オンラインで、次に、嘉手納高校が本校に来校して、それから、九州陸上の競技場で、最後は、沖縄ろう学校の生徒が嘉手納高校に行つての交流でした。何度も回数を重ねる中、休み時間におしゃべりする様子が増えていました。手話や筆談、携帯での音声認識ソフトを使つて、相手に合わせた会話の手段を使つてのおしゃべりは、卒業後の頼もしい生徒たちの姿を見るようで、うれしかったです。また、卒業生を招いての進路学習会も複数回行われ、すでに社会参加している先輩に、職場で、大学で、日常生活で工夫していることや困っていることを質問したり、対話したりして学んでいます。

嘉手納高校との交流学习



卒業生との交流学习



寄宿舎は、三重県立三重ろう学校と交流しています

寄宿舎は、年に3回三重ろう学校と交流しています。自己紹介や県産品の紹介、レク、フリートークと、回を重ねるごとに子どもたちの距離が近づいているのがうれしい交流です。離れていても同じ聴覚障害を持つ仲間が同じように寄宿舎で頑張っていることを知るいい機会となっています。

クイズ対決：クイズで知ろう沖縄 and 三重





みみずく

2022年度
学校だより
8号

猪突猛進して本気を見せた学習発表会・文化祭

2月5日に第23回学習発表会・文化祭が、「猪突猛進！ 沖縄ろう学校の本気をみせろ！ ～感動と勇気をこの手で伝えよう～」のテーマのもと行われました。各学部が、一丸となって取り組み、素晴らしい展示発表、舞台発表ができました。また、PTAの展示発表もPTAの皆さまが参加しやすいよう内容を工夫していました。PTAの皆さま、企画・ご協力、本当にありがとうございました。

今回の学習発表会・文化祭は、子どもたちや先生方、保護者の皆様の本気を感じ、思い出に残る行事となりました。

学習発表会・文化祭 幼稚部・小学部

幼稚部の舞台発表は、沖縄ろう学校バージョンの「おおきなかぶ」でした。子どもたちが得意なことを発表しながら「うんとこしょ、どっこいしょ」と、協力して大きなかぶを抜いているのがかわいかったです。小学部は、日頃の学習の様子を紹介しながら、自分たちの生活の中にある大切な”宝”を見つけていく劇でした。郷土の音楽や歴史・風土を教科学習で取り組んでいる様子を発表している子どもたちは素敵でした。



幼稚部



小学部



トピックス

2月～3月、琉球銀行諸見支店で、本校の子どもたちの作品展示をしています。2月の展示の様子です。また、3月1日に中学部、高等部と東京オリンピックに出場した400mハードルの選手とブラジルデフリンピックのハンマー投げの選手とスポーツ交流をしました。一流の選手から走り方や体幹の整え方を学びました。



学習発表会・文化祭 中学部・高等部

中学部の舞台発表は、太鼓と三線、リズム楽器での音楽パフォーマンスでした。力強い太鼓の演技、リズムを取りながらの三線、打楽器の演奏、手話ソングと、日頃、音楽の授業で学んだ成果を存分に発揮していました。カッコよかったです。高等部は、卒業後の自立や就労に向けて、自分の聴覚障害と向き合い、生活や仕事の中でどんな工夫ができるかを劇を通して考えていました。就労体験学習を主体的に考えようと奮闘する生徒たちが頼もしく思えました。



中学部



高等部 展示



高等部 舞台



動画やせりふは、生徒主体で作り上げています。2、3年生にとってはこれが最後の文化祭。記憶と記録に残していきたいですね。

寄宿舎：三重ろう学校との交流

寄宿舎の学発は、寄宿舎だよりの中でご覧ください。今回は、本年度最後の三重ろうとの交流を紹介します。今回は、アニメ・ゲーム・スポーツの3つのテーマで生徒同士が自由に話し合える「グループトーク」を実施。





みみずく

2023年度
学校だより
9号

本土復帰51年目

今日、5月15日は、本土復帰の日です。2023年で51年目になりました。現在も沖縄には、日本の米軍基地の約70%が沖縄にある状況です。本土復帰後も県内に多くの基地があることについて子どもたちと一緒に考えながら、6月23日の慰霊の日まで、沖縄ろう学校は、平和の尊さを学ぶ平和学習をスタートしました。「本土復帰」、「基地」、「慰霊の日」、そして「平和」、「命どう宝」は、全部つながっていることをこの平和学習の中で、子どもたちも教職員も心に刻み、恒久平和と基地のない沖縄を願い続けていきたいです。

令和5年度のスタート！入学式、始業式

令和5年度が、スタートして1か月余り。4月7日に始業式、4月10日は入学式を終え、幼稚部9名、小学部9名、中学部7名、高等部9名、合計34名の子どもたちが令和5年度の学習をスタートさせました。今回は、始業式や入学式の様子や各学部の掲示物について紹介します。



幼稚部

入学式・始業式



小学部



中学部



高等部

日常の風景（掲示物）

聴覚に障害のある子どもたちには、目で見える情報がとても大事です。各学部では、情報が目で見えてわかる工夫をたくさんしています。



児童生徒玄関前
創立記念について



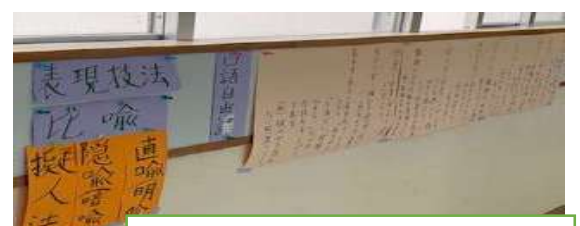
幼稚部
5月の壁画



小学部



高等部
数学の学習内容



中学部
国語の学習内容：日本語の文法

学校に来た時には、掲示物も見てください！



み み ず く

2023年度
学校だより
10号

平和月間：78年前の戦争を忘れない。平和の思いを継承します。

6月23日の慰霊の日に向けて、平和の大切さ、戦争の恐ろしさを幼稚部、小学部、中学部、高等部が、子ども達の発達段階に合わせて、読み聞かせや特設授業、校外学習などを行っています。図書館でも戦争や平和についての図書を特集しています。

沖縄戦を忘れない、語り続けることをみんなで続ける先に、本当の平和が実現するのだと思います。

今回は、高等部の生徒の活動を紹介します。



唯一の地上戦があった沖縄戦のパネルを展示

嘉手納高校、普天間高校との交流学习

去年から始まった嘉手納高校との交流学习、最初はオンラインで、筆談、手話、口話、いろんな手段で話し合いました。7月には嘉手納高校の強い希望で、嘉手納高校でランチ交流と共同学習をします。



←嘉手納高校と
普天間高校と↓



今年から普天間高校とも交流会をしました。「UDトーク」の使い方、筆談や手話を使ったコミュニケーション方法について説明した後、4つのグループに分かれて、互いの意見交換をして交流をしました。普天間高校の生徒は、自己紹介を指文字でしていました。嘉手納高校と同じように交流が広がることに期待したいです。

一足先の就業体験実習と情報保障

高等部3年生の梨央さんと2年の七海さんが、他の生徒より一足先に、抽出での就業体験実習をしました。二人は、居住地近くのサンエーさんでの実習でした。今回、二人とも、自分たちへの情報保障をサンエーさんに自らお願いしました。それは、お客様に要件を訊く指差しカードと、スマホでの音声認識ソフト(右写真)の使用です。サンエーさんは、自社のスマホにアプリを入れて、二人が使用することを認めてくださいました。二人の社会参加へのステップアップに協力して下さったサンエーさんに感謝の気持ちと、子どもたちの未来が少しずつ開けたと感じました。



梨央さん



七海さん

高等部での自立活動 ア・ラ・カ・ル・ト

ろう学校での自立活動の様子を見る機会は、なかなかないと思いますので、今回、高等部でどのような自立活動をしているのかを紹介します。

①聞こえの仕組み

外耳・中耳・内耳を擬人化し、それぞれを生徒が担当してロールプレイを行いました。音が耳を介して伝わり、認識されるまでの過程、そして感音性難聴がどうして聞こえにくくなるのかを視覚的にわかりやすく学びました。その後、生徒それぞれの聞こえ方や音に関する悩みの違いについて話し合い、同じ聴覚障害でも多様であることを確認しました。自分の聞こえを知ることで、情報保障の大切さを自分で分かり、相手に伝えることが出来るようになります。

②聴覚障害疑似体験

聞こえにくくて困ったことを改めて整理するために、場面を想定してロールプレイを行いました。教員から声だけで出された指示について、聴者役の生徒から説明を受けるも、全く分からず困っている聴覚障害者役の鵬暉さんと未来さん。聞き返す意欲もなくなってしまい、苦笑いを浮かべるだけになってしまいました。聞こえないことの心理的・社会的バリアについて再認識しました。



聞こえの仕組みの授業の様子



日本語の文法学習もしてます



聴覚障害の疑似体験の授業の様子



3月に卒業した卒業生の近況

今年の3月に卒業した卒業生から写真が届いています。それぞれの場所で3人とも元気な様子で頑張っているようです。卒業生、頑張れ～！！



政士郎さん



勇汰さん



頼弥さん



みみずく

2023年度
学校だより
11号

九州地区のろう学校とのオンライン学習がスタートしました。

令和5年度は、“ろう学校で学ぶ子ども達の多様な学びの場をひろげよう”を学校の特色ある取り組みとして推進しています。“多様な学びの場”としては、地域の子ども達がろう学校で共に学ぶ「体験授業」、特定の学校との交流および共同学習をする「学校間交流」、子どもたち一人一人の居住地で学ぶ「居住地校交流および共同学習」。そして、簡単には移動したり会ったりできない地域との「オンラインによる交流および共同学習」です。

沖縄ろう学校は、言語環境、聴覚保障環境を整えるとともに、沖縄ろう学校だけでは難しい、集団での学習環境を整え、聴覚に障害のある子どもたちの個別最適な学びを保障するよう努力しています。

今回は、九州地区とのオンライン学習含め、中学部の生徒の活動を紹介します。

栄養教諭、スクールカウンセラー、地域の方を先生に学習しました

総合の学習や道徳、自立活動の時間に、学校に協力して下さるさまざまな方々から社会参加や自立に必要なことを学んでいます。チーム沖ろうの協力者を増やししながら、子どもたちに必要な体験や学びをこれからも増やしていきます。



スクールカウンセラーとアイス ↑
ブレイク（親しくなりました）



↑栄養士から食育の大切さ、地産地消について学びました。



日本フラワーデザイナー協会の社会貢献事業を活用して、地域の花屋さんの方に来ていただき、講習を行っていただきました。地域の方と交流して、フラワーアレンジメントで母の日のプレゼントを作りました。

対馬丸記念館での平和学習

6月の平和月間に対馬丸記念館に行き、平和の尊さ、戦争の恐ろしさについて学習しました。

【生徒の感想】

- ①世界の内線をやめさせるためには「語り継ぐ」ことです。
- ②せんそうの時、ぺんきょうができないのでさみしいとおもった。



語り部から、
当時の様子を
聞きました。



中学部での学習の様子です

中学部は、教科担任制になります。1年生は、小学校との違いを感じながら、教科担当の先生方と手話や口話、筆談で話し合い、教科の内容を学んでいます。2年生や3年生も同じです。中学部の日常の1場面ずつを紹介します。

社会科 iPadで日本地図の勉強をしたり、沖縄の道具の移り変わりを勉強しています。



英語科 ALTのジョン先生と真理子先生と一緒に、英会話の学習をしています。



理科 学校とオンラインによる共同学習をしています。写真は、イカの解剖で消化の仕組みを勉強しているところです。熊本聾学校の生徒の意見を聞いて、自分の意見との相違点を考えているところです。イカの解剖には、美ら海水族館の飼育員の方にも協力頂きました！

体育 水泳。
プールに入り、
最高の気分！！



理科 岩石の観察
をしています☺



台湾のろう学校の先生が沖ろうの見学をしました

台湾のろう学校の先生が、本校に来ました。国際手話で話しているのを県内の聴覚障害の方々が手話で通訳して下さいました。手話でのおしゃべり、楽しかったです。今回は見学だけでしたが、次は、子どもたちとも交流していただきたいです。





みみずく

2023年度
学校だより
12号

九州地区とのオンライン交流および共同学習、全クラスでやっています！

本年度は、九州地区のろう学校とオンラインでつながり、同じ障害を持つ子同士の集団での交流や共同学習を学校全体でやっています。小学部は1学期から取り組み始め、2学期にすべての学級で実施しました。オンライン交流の数小学部だけで29回です！！つながった学校は、福岡聴覚、久留米聴覚、直方、佐賀、延岡しろやま、鹿児島島の6校。詳細は別月に特集します。

今回は、小学部児童の活動を紹介します。



1年生のオンライン交流の様子です。

3年生、4年生の学習の様子です

3年生は、初めてのプログラミング学習に挑戦しました。プログラミングの学習は、3年生からスタートです。クラスメイト同士で相談し、悩みながら完成を目指しています。がんばれ～！

4年生は、習字の時間と外国語活動を紹介します。習字は、とめ、はねなどのポイントを抑えながら力強く書けました。ジョン先生との外国語活動は、ゲームもあっていつも楽しみながら英語に親しんでいます。



プログラミングの勉強に真剣！



ジョン先生とレッツトライ！



一筆、一筆、ていねいに

小学部に教育実習生がきました！

10月2日から2週間、3年生のクラスに教育実習生がきました。本校の卒業生で同じ聴覚障害の学生に子ども達は親しんでいました。休み時間は他のクラスの子とも遊んだりおしゃべりしたりと、子ども達にとっても実り多い2週間でした。



運動会、皆でポーズ



寄宿舎祭り楽しかったよ



読字力検定に挑戦

1 年生、にじ組の様子

1 年生は、教科学習がはじめて。校外学習も教科の中で行われるので、事前学習も事後学習もしつかりやります。教科の中で覚えた言葉もたくさん。宿題は大変だけど、毎日楽しいよ。

にじ組に新しい友達が入って、ふたりでいろんな活動をしています。1 年生と 5 年生だから、お互いのペースを合わせるのには時間がかかるけど、互いに応援し合って頑張っています。

どうぶつのいじり、しらせたいな



ひらがなに挑戦

修学旅行で笑顔



じゃがいも植えるよ

5 年生、6 年生の学習の様子です

5 年生は、沖縄県から日本へと学習する範囲が広がっていきます。そのためには、インターネットで検索して調べ学習をする機会が増えます。また、外国語の学習もスタート。4 年生までの外国語活動をベースに、本格的な英語の学習をします。そこで必要になるが、ローマ字！日本語入力も大事ですが、ローマ字入力ができると、パソコンでの学習も外国語の学習も大助かり。一生懸命、ローマ字入力の練習をしています。

6 年生は、中学生になる事も見据えてキャリア教育に力を入れています。お父さんの会社での就業体験で仕事をする事の大切さと大変さを学びました。学んだことから、将来、自分がどんな仕事をするのかについても考えました。まだ悩み中ですが、ゆっくり自分の将来について考えます！



ローマ字入力頑張ってるよ👏

👉 職場体験したよ



楽しかった修学旅行

10 月 5 日から 2 日間、5、6 年生は北部へ修学旅行に行きました。イルカと触れ合ったり、花火をしたり、普段の学校生活ではできないことをいっぱい体験して、楽しい思い出のお土産をたくさん持って帰ってきました。





み み ず く

2023年度
学校だより
13号

秋の晴天のもと、第45回運動会・体育祭が行われました。

10月22日、「さあ盛り上がり！もっと笑顔で 限界を 超えろ」をテーマに運動会・体育祭が開催されました。乳幼児教育相談かけっこ、幼稚園部、小学部、中学部・高等部の 走やリズム、団競が行われ、PTA や卒業生が大奮闘した 五色綱引きや全体リレーと、子ども達がテーマ通りに、それぞれが限界を超えた力を発揮して、笑顔で盛り上がった 運動会・体育祭でした。詳細は別月に特集します。

今回は、高等部の生徒の活動を紹介します。



開会式前のリラックスした幼稚園部です

7月・10月のお誕生会

9月7日(木)に幼稚園部では7月生まれと10月生まれのお友だちのお誕生会がありました。

7月生まれの、さくのすけさんは、5歳になりました。10月生まれの、じゅんとさんは4歳になりました。ふたりとも幼稚園部のお友だちや先生方、そして、お母さん方からの「おめでとう♪」のお祝いの言葉に嬉しそうに笑顔いっぱい。大きなケーキをふうっと息を吹きかけ消して、1つ年上になった喜びもいっぱい的一天でした。



幼稚園部に教育実習生が きました！

9月5日～26日まで、沖ろう卒業生が教育実習にきました。子ども達は、新しい先生に大喜び。実習生は、はじめは緊張していましたが、すぐに慣れて、子ども達と遊んだりおしゃべりしたりしてました。授業にも一生懸命。同じ聴覚障害のある学生だから気づくこともあり、子ども達も実習生も先生方もお母さん方も学びの多い教育実習でした。



子ども達と造形あそび



うんどう遊びの一コマ



ぞう組とパンダ組の
合同朝の会



おじいさん・おばあさんの会

9月15日(金)には、おじいさん、おばあさんをお招きして、おじいさん・おばあさんの会をしました。いつもは学校では会えないおじいさんやおばあさんがやって来てくださり、子ども達は大はしゃぎ。抱っこをせがんで、笑顔で幼稚部の中を案内。おじいさんやおばあさんの紹介の時には、はにかみながらうれしそうな様子でした。

一緒にじゃんけん列車やいすとりゲームをしてあそびました。幼稚部での楽しそうな子ども達の様子に、おじいさん、おばあさんも思わずにっこり。笑顔の連鎖が止まりませんでした。

子ども達は、昨年の学習発表会で演技した「おおきなかぶ」をあらためて、おじいさんとおばあさんに披露しました。「うんとこしょ、どっこいしょ」とかぶを引っぱる子ども達。子ども達の日々の成長をおじいさんやおばあさんも感じられる一幕だったと思います。



↑ おじいさん・おばあさんとポーズをとって記念写真
「だいすきだよ」のプレゼント →



← おじいさん、おばあさんを紹介します



いっしょにゲームをたのしんだよ♡



「おおきなかぶ」のげきをしたよ





み み ず く

2023年度
学校だより
14号

同じ聴覚障害のある仲間同士の絆が魅力の寄宿舍

昔は家の中が大家族状態だったので、互いの意見をすり合わせたり、譲り合ったりすることがあたり前にありました。また、兄弟もいたので、兄弟同士でけんかしたり、相談したりすることも毎日のようにありました。しかし、今は、一人っ子や核家族が多くなって、なかなか自分以外の人と意見を交わし合ったり、相談したりする回数が少なくなりました。しかし、同年齢、異年齢で話し合う力、協働する力は社会参加に必要な力です。今、その機会を作れるのが寄宿舍です。

寄宿舍の様子は、ホームページの「寄宿舍だより」の参照も！



余暇活動の一場面：トランプゲーム

毎日の掃除、定例清掃

寄宿舍では、“自分のことは自分でやる”をモットーに、毎日、部屋の掃除、洗たく、制服のアイロンがけ、食事の準備、共用スペースの掃除等をしています。それ以外に、月に1回は、定例清掃があります。自分が生活するスペースだけでなく、寄宿舍全体をきれいにすることで、公共の場所の使い方、大切にすることを育てています。↓ 扇風機洗い：扇風機は使っていると誇りがたまります。それをきれいにしています。



↓ 窓 洗 い



学期末大掃除 ↑

↓ 窓 洗 い



絆を強くする部屋会

寄宿舎では、部屋ごとに、生徒たちが部屋担当の先生と話し合っ、部屋会をしています。部屋会の時期は、学期末にすることが多いのですが、「部屋で話し合いたいな」、「みんなと共有したいことがある」という時には、臨時で行うこともあります。

部屋会の時は、話し合うだけでなく、飲み物や食べ物を用意するのですが、それらは、生徒たちが話し合っ決めていいます。何を飲もうか、何を食べようか、互いの意見をすり合わせて決めることが大切なんです。些細なことも、こうして話し合っ決めることで、仲間との絆を強め、自分以外のひと、意見をすり合わせることの大事さを学んでいます。

カップ麺パーティー ↓



← おやつ
パーティー



ニューフェイス歓迎ピザパーティー♡

舎生の楽しみ、余暇活動！

入舎中、生徒にとって寄宿舎は家庭と同じです。当番活動や学習タイムだけでなく、ほっと一息ついて、息抜きする時間も大切です。それが、余暇活動です。下の写真は、舎生の余暇活動の様子です。





み み ず く

2023年度
学校だより
15号

九州地区のろう学校とのオンラインでの交流及び共同学習

本年度、沖縄ろう学校の幼児童生徒の在籍数は36名です。平成21年には88名でした。それから少しずつ減少してきたの36名です。在籍数が減ると、集団での学び合いの機会が減ります。社会参加する時に、相手の意見や思いを尊重する姿勢は、とても大切です。特に、働く時には、必ず対話の機会が生じます。ですから、少人数の学校でもできる集団活動としてのオンライン交流および共同学習は、大事な学習です。

それも、手話でできる学習であることが要です。同じ言語形態（手話も使う多様なコミュニケーション）で学び合う事で、意見を言いやすく、思考力が伸びるからです。聞こえる子供たちとの学び合いもちろん大切ですが、同じ聴覚障害を持つ子同士の学び合いは、子ども達が、「自分のままでいいんだ」という、自信をもって活動する基盤を育みます。ありのままの自分で生きていくということは、簡単なようで難しいです。その気持ちを育て、かつ、他者を認める機会となるのが、この学習です。



寄宿舍：沖ろう⇔佐賀ろう、三重聾

小学部のオンライン授業

小学部は、佐賀、鹿児島、福岡、直方、久留米、延岡しろやまと合計29回のオンライン学習を行いました。1年から6年生、にじ学級と全クラスが複数回の交流をしています。他のろう学校の友だちがスクリーンの向こうから話しかけたり、意見を言ったりするのを子どもたちは真剣に見ていました。手話で語り合える楽しさ、いつもは先生と二人だけの学習に、他県の友だちが参加して同じ学習をする喜びが子どもたちの顔にあふれていました。



1年：久留米と（国語）
「かたちをつたえよう」



3年：直方と鹿児島と（国語）
「文を作ろう」



4年：佐賀ろうと（理科）
「物のとけ方」



にじ：鹿児島と（生活）
「たべもの3ヒントクイズ」



5年：福岡と（総合）
「学校と互いの県の紹介」



6年：福岡と（算数）
「円の面積の求め方」

中学部のオンライン授業

中学部は、熊本、久留米、都城さくら、延岡しろやまと合計14回のオンライン学習を行いました。中学部は、教科と総合でオンライン学習をしました。総合は、7名全員が参加して、自己紹介や学校紹介、県の紹介をしました。教科は、国語、理科、社会、英語、体育、家庭科で行い、題材や実験、実技で意見を交わしたり、平和や郷土料理について、互いの風土や歴史を共有し合って学び合い、英語で紹介し合ったりしました。休み時間はフリートークで盛り上がりしました。



直方、延岡しろやま と
(総合)「学校と県の紹介」



久留米と
「フリートーク」



都城さくら と(英語)
「あなたの好きなものは何？」



久留米と (体育)
「セットシュートの技能」



久留米と (家庭科)
「県の郷土料理」



都城さくら と (国語 社会)
「沖縄と宮崎の太平洋戦争」

幼稚部のオンライン学習

幼稚部は、佐賀、鹿児島、都城さくらと合計5回のオンライン学習を行いました。幼稚部では、保護者対象のオンライン学習をしました。聞こえとことばについての講話等をオンラインに参加した保護者全員で聴いた後、質疑応答や情報交換をしました。同じ悩みを持つ保護者が他県にもいるのだということを知ったことや子育てのワンポイントアドバイスを互いに語り合い、同じ聴覚に障害を持つ子の保護者同士のつながりを広げられたオンライン学習でした。



さが、鹿児島、都城さくら と
(情報交換)
「小学生になるまでに身につけたいこと」



高等部のオンライン授業

高等部は、佐賀、長崎、大分と合計8回のオンライン学習を行いました。高等部は、国語、数学、社会、職業、総合でオンライン学習をしました。国語は、調べ学習をもとに生徒同士が互いに意見を交わしてまとめていました。数学でも学び合いの場面が多く見られ、社会、職業は、コラボして育てた野菜を郷土料理として調理して紹介していました。総合でもそうでしたが、生徒が主体となって学習を組み立て、準備段階から生徒が関わっている様子に、社会参加を目指した姿勢がみられました。



長崎と （国語表現） 「建設的な議論」



佐賀 と
（社会 職業）
「郷土の特産物
や文化、料理」



大分と （総合探究）「魅力ある地域紹介」

寄宿舎のオンライン交流

寄宿舎は、4年前からオンラインで交流している三重県立聾学校と本年度から参加する佐賀ろうと、合計3回のオンライン交流を行いました。寄宿舎では、事前での打ち合わせも数回オンラインで行って本番のテーマを決めています。1回目は、事前に担当舎生が打合せを行い企画した「コロナが落ち着いた寄宿舎生活の今」をテーマに発表しました。交流が終わった後の生徒たちの意見からは、「緊張して手話が早くなった。」、「うまく伝わったかな?」、「うまく伝わるように手話のスピードを落とした。」など、相手に伝える工夫しようと努力していた様子が分かりました。2回目以降の交流では、フリートークや地元の紹介など、いろいろな話題で交流していました。



三重と佐賀と （交流）「コンビニ紹介」



み み ず く

2023年度
学校だより
16号

スポーツで、日本で、世界で、活躍できる子ども達を見てみたい！！

デフバレーボール世界選手権 2024 沖縄大会が、国内で初めて開催されます。期間は、6月21日(金)から6月30日(日)の3日間、豊見城市民体育館をメイン会場に行われます。

また、聴覚障害者のオリンピックである東京 2025 デフリンピックが、2025年に東京で開催されます。

デフバレー日本代表、デフリンピック日本代表のどちらにも沖縄ろう学校の卒業生が選ばれ出場しています。子ども達の可能性は無限大です。今後、参加した先輩たちと同じように、子ども達がスポーツで活躍できるよう、応援していきたいです。今回は、スポーツ特集です。



日本デフバレー



デフリンピック

九州地区聾学校体育・文化連盟 福岡大会

10月27日(金)、九州地区聾学校の陸上競技大会がありました。本校から中学部4名、高等部5名が代表選手として参加しました。選手たちは、金メダル、銀メダル、銅メダルを複数とる大活躍でした。選手たちがひたむきに走る姿を見て、ろう学校を卒業してからもスポーツを楽しみ、また、沖縄代表、日本代表となれることを期待したいと思いました。前日の26日(木)には、文化交流があり、他県のろう学校の仲間たちとの交流を楽しむ様子も見られました。



交流会で校歌を披露



大会へ、頑張るぞ！

校内駅伝大会

2月2日(金)、校内駅伝大会がありました。幼稚部から高等部までの36名が、赤チームと白チームに分かれてタスキをつなぎました。両チームとも一生懸命タスキをつなぎ、仲間を応援していました。



選手宣誓！！



タスキをつないで



勝ったど～!(^~)!

第45回運動会・体育祭

10月22日(日)には、運動会・体育祭がありました。幼稚部から高等部まで、そしてPTAが力を合わせて走、団競、リレーに取り組み、一生懸命頑張っていました。子ども達は参加する種目だけでなく、アナウンスや指揮など、係にも力を発揮していました。久しぶりに応援に来て下さる家族も制限がなく、たくさんの家族や関係者に応援していただきました。

子どもたち一人一人が輝いていた運動会・体育祭でした。



開会式



PTA 競技：五色綱引き



幼稚部：かけっこ



小学部：団競



中学部・高等部：エイサー



選抜リレー



閉会式

